



議会だより

# こみ



児童館/パママカンガルー広場  
「ママと一緒にフラダンス」

きかせて あなたたちの夢  
あなたたちの未来に寄り添うまちに

6月議会 — 第2回定例会 —

こんなことが決まりました ..... ②

一般質問 ..... ④

委員会レポート 各常任委員会からの要望 ..... ⑩

臨時議会

議会広報研修会 ..... ⑫

編集後記

## 6月定例会号

第1、2回臨時議会合併号

平成26年7月30日発行

### No.124

発行/小海町議会

編集/議会だより編集委員会

責任者/議長 鷹野 弥洲年

# こんなことが決まりました

## 平成26年度一般会計で新井町政 2 期目の 政策的事業費等を増額補正

### 26年度 一般会計補正予算 (第 1 号) 全員賛成で可決

4億3,054万円を追加補正 総額36億8,554万円

#### 【歳出の主なもの】

●集落再生支援事業	3,300万円
●農業用施設雪害補助事業	2,549万円
●プレミアム付Pマネー発行補助事業	1,000万円
●住宅リフォーム補助事業	1,000万円
●(仮称)北牧学習館建設事業	2億9,900万円

#### 【財源の主なもの】

●地方交付税	6,158万円
●国庫補助金	1億2,412万円
●基金繰入金	1億5,000万円
●町債	8,300万円

### 25年度 一般会計補正予算 (第 6 号) 全員賛成で承認

3,131万円を追加補正 総額39億4,535万円

#### 【歳出の主なもの】

●25年度事業の精算	
●基金積立金の追加	185万円
●スケートセンター運営費	84万円

#### 【財源の主なもの】

●町税	637万円
-----	-------

### 25年度 特別会計補正予算 全員賛成で承認

国民健康保険事業特別会計	473万円追加	総額 5 億3,903万円
介護保険事業特別会計	1,526万円減額	総額 5 億9,329万円
後期高齢者医療特別会計	71万円減額	総額 6,387万円
農業集落排水特別会計	21万円減額	総額 6,368万円

平成26年小海町議会第2回定例会が6月5日から18日まで14日間の会期で開催されました。財産取得1件、条例改正報告1件、条例改正案等10件、補正予算報告5件、補正予算案1件、陳情3件の合計21件で審議が行われ、承認・可決されました。一般質問では、6名の議員により行われ、町の考えをただしました。

# 6月議会 第2回定例会で

全員賛成で承認・可決されました。

## 財産取得

### ◆町営路線用中型バス 1台

町営路線バスの更新に伴い中型バス1台を指名競争入札により1,579万円で購入しました。

## 条例・規約

### ◆小海町税条例の一部改正

地方税法の改正に伴い、地方税法(国税)創設による、法人町民税法人税割の税率の引き下げ、軽自動車税の税率の引き上げなど、所要の改正をしたものです。

### ◆小海町医療費の支給に関する条例の一部改正

この4月より70歳になる人から医療費の自己負担が順次1割から2割に引き上げられるのに伴い福祉医療の対象年齢を拡大するものです。

### ◆小海町消防団の設置に関する条例の一部改正

町消防団の設置根拠である消防組織法の適用条項について、修正するものです。

### ◆小海町消防団員の定員・任免・給与

・**勤務等に関する条例の一部改正**  
消防団員の定数を189人から7人減じて、

182人とするものです。

### ◆小海町消防団員等公務災害補償条例の一部改正

公務災害補償の対象に原子力災害の追加療養の範囲に在宅での療養や看護を追加するなど、所要の改正をするものです。

### ◆小海町非常勤消防団員に係る退職報酬金の支給に関する条例の一部改正

消防団員の処遇改善を図るため、退職報酬金の最低額を20万円とし、団長以下各階級において一律に5万円増額するものです。

### ◆小海町国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険運営協議会の答申に基づき、平成26年度国保税の税率の減額改定などについて改正するものです。

### ◆東信地区交通災害共済組合規約の一部変更に関する協議

交通災害共済事業の安定した運営を継続するため、東信と北信の組合が統合し、平成27年4月1日からの発足、運営を行うため、新しい組合へ事務を継承する条文を加えるものです。

### ◆東信地区交通災害共済組合の解散に関する協議

組合の解散の日を平成27年3月31日とするものです。

### ◆東信地区交通災害共済組合の解散に伴う財産処分に関する協議

組合の基金2億5,271万円を新しい組合に帰属させるものです。

### ◆東北信市町村交通災害共済事務組合への加入に関する協議

新しい組合に平成27年4月1日より加入するものです。

## 請願・陳情等

●地方教育行政への国や首長の関与を強化する「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の「改正」に反対する意見書提出に関する陳情書について

陳情者より陳情取り下げ願いが提出され、全員賛成で取り下げを許可しました。

●「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める陳情書について

全員賛成で採択し、衆参両院議長、関大臣に意見書を提出しました。

●国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する陳情書について

全員賛成で採択し、関係大臣に意見書を提出しました。

# 問 国民健康保険税は高いと思うか 適正価格か

答 町長 近隣市町村に比べれば決して高い位置にない



井出 薫 議員

**問** 国民健康保険税値下げのために、一般会計から国保会計繰り入れという市町村が増えているが。

**町長** 税の基本的な考え方は、被保険者に過度の負担とならない範囲内で、適正な保険税率を持つて維持し確保していくべきだと思います。一般会計の繰り入れということは基準がないわけで診療報酬の増減、基金の残高、これらを総合的に判断し、対応していくというのが基本的な考え方はです。

**問** 町長自身が町民の皆さんに課税している国民健康保険税が過度の負担になっていないか、適正なのかどうか認識を伺いたい。

**町長** 小海町の国保税は、近隣の市町村に比較した場合決して高い位置にないだろうと思っています。低所得者の皆さんに負担が重くのしかかる均等割平等割はある程度低く抑えられていると思っています。

**問** 近隣市町村に比べれば決して高くはないと答弁されたが、

納税をされる皆さんにとってどうかという目線を持たないと、適性かどうかという判断はできないと思います。

## 要支援者の大多数を 専門的ケアから排除

**問** 今度の介護保険制度の改正案で、要支援1と2の方を対象にした訪問介護、通所介護を、市町村が行なう地域支援事業に移行するとなっていくが、対象になるのは僅か7

%か8%の皆さんで、後の皆さんは介護保険の外になってしまうような答弁を厚生大臣がしているが。

## 町独自で出来ることは実施したい

**町長** 介護保険のみならず高齢者支援の形で町全体、社会福祉協議会、町民課そして職員も当然、町独自で出来ることは提案し、実施して参りたいと思います。



# 問 女性の雇用の問題、 職種の違いや賃金の差等町職員では

答 町長 その方にあった応募で面談をし、納得した上で雇用、契約を結び働いていただいている



的埜 美香子議員

**問** 男女雇用機会均等法の実効性は町ではどうか。

**町長** 専門的な職種は別として一般の事務職員の男女の差別はないと思っています。公平、平等にやるように努めています。

**問** 女性が安心して働き続けるためには均等法の実効性が大事である。女性の雇用労働者が増えた一方で非正規で働く女性が雇用女性労働者の二人に一人まで増え、女性の貧困の広がりも社会問題になっている。「女性が輝く日本」

という安倍政権は成長戦略の一つに雇用の拡大を位置づけたが、雇用の規制緩和で女性をさらに安い労働力で使おうとしており、ますます女性の貧困は広がるばかりだ。町の職員においてはどうか。

**総務課長** 臨時職員77名の内男性が17名女性が60名です。(正職員66名の内女性職員23名)

**問** 女性の雇用の問題(職種の偏り、賃金の格差等)が町の職員だけ見ても見えてくるのでは。

**町長** 社会保障や福利厚生手当等考慮しながら公募し、その方に合った応募をされ、面談をし納得した上で雇用、契約を結び、合った場所で働いていただいている。

**問** 臨時職員が正職員のように違うポジションへの異動はおかしいと思うが。

**町長** 似たような職場の場合には、新しい風を吹き込むという事をお願いをしている。適材適所、相談をしながら、異動し、それが住民サービスに

つながり、町の活性化につながるような方策に努力して参りたい。

**的埜議員** 似たような職場と言われるが、中身は全く違う内容だと思う。

臨時職員の皆さんは明日の保障がないという不安材料を抱えている。しっかりとした保障が約束されるように改善を強く求めます。

その他、公共交通網についての質問をしました。



問

# 1 人口減少に伴う定住促進対策は 2 中部横断自動車道の早期実現を

答

町長 1 安価な宅地を販売し定住を促す  
2 早期実現とインター誘致を目指す



有坂 辰六議員

**問** 小海町の人口減少と少子高齢化は避けることのできない、そして放置することのできない大きな問題です。この件について、関連資料により説明をお願いします。

**総務課長** 小海町の将来推計人口は日本創成会議の試算によると、2010年の人口5、180人が2040年には2、773人に減少、14歳までの若年層は532人が207人に、15歳から64歳までの勤労者層が2、794人から1、331人となり、更に20歳から39歳までの出産適齢期の女性の人口が

386人から121人まで減少し、少子高齢化は避けられないショッピングな内容が示されました。

**問** 町長の二期目の公約でもこの問題を大きく掲げており、人口減少をゆるやかにし、町の活性化に繋げたいとあります。町長は大畑などの空いた町有地を、若者向け住宅の建設用地として安価に提供したいとのことですが、空き家・空き公有地等を含め、少子高齢化対策に積極的に活用して頂きたい。町の活性化の為に町の中心市街地である土村

区や西馬流区に、子育て世代や高齢者の皆さんが住んでみたくなるような、魅力的な定住促進集合住宅建設を実行して頂きたいと思いますが町長の考えをお聞きます。

**町長** 二期目の公約の一つに定住促進と安心子育て支援、少子化対策と教育の充実を図ると掲げました。具体的には安価な宅地の提供と住宅建設、空き家の斡旋を行い、町の中心地には魅力ある集合住宅を建てて住んで頂きたいと思えます。住む場所と働く場所の確保が何より重要であることは勿論ですが、企業誘致は現況では非常に難しく、先ずは住む場所を安価で提供し定住を促します。

**問** 中部横断自動車道の早期実現は小海町にとって活性化は勿論ですが、観光・物流・通勤・救急搬送・複合災害時等々にも甚大な影響を及ぼします。インターチェンジ誘致の件も含めて町長に伺います。

**町長** 中部横断自動車道は高速道路で太平洋と日本海を結ぶ壮大な計画の基にスタートしました。残るのは八千穂インターから北杜市長坂間34kmだけとなり現在、整備計画格上げの要望を展開しているところですが、議員のおっしゃる通り小海町の将来の為に、インターチェンジの誘致と併せて近隣町村と一緒に実現に向けて取り組んで参ります。

**有坂議員** 人口減少、少子高齢化問題、中部横断自動車道の早期実現は、将来の町づくりに欠かせない最も重要な課題であり、全ての皆さんが力を合わせ立ち向かい小海町が小海町であり続けることを期し切望いたします。



着々と工事が進む中部横断自動車道

# 問 人口減少ストップ!! 国負担70%過疎債活用で住宅建設促進を

答 町長 過疎債・基金の活用そしてプロポーザル方式等による住宅建設をできるだけ速やかに進めます

**問** 私は、町長が一期目に蒔いた種がこの二期目でどんな花を咲かせ、どんな実がなるのか。また、二期目はどんな種を蒔きどんな花を咲かせて下さるのか小海町民一人一人が期待を込めて見守っていると思います。



篠原 伸男議員

ようか。

**町長** 一期目のお約束全てができた訳ではございません。特に篠原議員から指摘いただきました町の中心部に若者の定住あるいは子育て住宅の建設ができなかったため、二期目では大畑の公有地や篠原議員からご質問いただいた旧栄荘・清水電気跡地を活用して定住促進と安心子育ての支援、少子化対策と教育の充実を図っていく決意です。

**問** 私は町の喫緊の課題は人口対策だと思えます。

人口確保は住む所の確保です。私は過疎債の活用で住宅建設を進めるべきだと思います。過疎債は70%国が負担します。12年間の返済期間は家賃で、それ以降は自分の持ち家となるローン返済方法を設定することで、若い人達が少ない予算で家を持つことが可能です。

**町長** 過疎債の活用については充分検討しますが、基金もあるこの活用、他の補助金の活用、また、以前提案い



若者定住促進事業として宅地分譲が予定される大畑町営住宅跡地

ただきましたプロポーザル方式という設計施工方式も検討しながら進めて参りたいです。

**篠原議員** 活力ある村づくりの下條村の伊藤村長は、職員に対して納税者や民間企業の気持になれと言って職員に新たな提案を常に求め、改革のペースを落とさないことに心掛けているとのこと。町長の一期目にも増します。一期目にも増します。

問

# 1 働く場所を提供し若者定住策の充実を 2 財産としてカラ松をどう守るか

答

町長 1 福祉部門は雇用がある  
2 木質バイオマス関連については今後の研究課題

**問** 働く場所の確保について  
お考えをお聞かせ下さい。

**新津議員** 町長、一期目は集落再生支援事業、住宅リフォーム助成事業等施行して来ましたが、リフォーム助成事業は、一人親方や零細業者の皆様が自分から積極的に営業活動をして仕事を確保するといった新たな力を生み出したり、工事を提供する施主様にとってもたいへん良い事業であったと思います。需要のある限り続けていただきたいと思います。



新津 孝徳議員

**問** 福祉の町をアピールして  
も若者に住んでいただけな  
ればそれも生まれてこない。  
建設業や建築に携わる人達の  
活力になるよう若い人の新築  
住宅に100万円の助成をした  
らどうでしょう。何事も計画  
しても先ず、人を集めなければ  
どうにもならないと思いま  
す。

**町長** 美ノ輪荘の建替えてベツド数が増えればそこに大きな雇用が生まれる等福祉部門においては特に雇用がありません。

**町長** 定住されることにより新たな税金も生まれる等これらを加味して研究して参ります。

**問** 町内のカラ松等伐期を迎えている町民の財産を何とかかせないか。親子代々守ってきたが、バイオマス発電や

建築建設資材等あらゆる方向で持主に還元できるよう検討していただきたい。

**町長** 皆伐した山林の再生は森林組合と相談しながら補助金等手助けできないか研究して参ります。



伐期を迎えたカラ松林



# 問 大畑団地の町有地を 分譲販売するようですが

**答 町長** 三区画位を予定しております  
なるべく安価で提供できればと考えております



篠原 義從議員

**問** 新しく就任しました教育長にこれからの教育委員会及び教育行政について一言お願い致します。

**教育長** これからの学校教育、社会教育、そして教育委員会運営等につきまして私なりの考えの一端を申し上げたいと思います。

最初に学校教育につきましても、懸念される基礎能力の低下、学力、体力そして生きる力の向上に力を注いで参ります。

合わせて一貫した学びの連携による教育環境作りを行な

って参ります。保育園、小学校、中学校との連携。学校、家庭、地域との連携。学校教育、社会教育との連携等、それぞれが連携し、その役割をしっかりと果たすことにより、教育の一貫性と重層的な学び環境を作ることが出来ます。またいじめ、不登校対策等子供たちを常に真ん中に置いた取り組みを行なって参ります。現在計画中の（仮称）北牧学習館は、町民の皆さんの声を反映したみんなの学習館として運営して参ります。最後に教育委員会につきましては、形骸化しないよう常に地域に

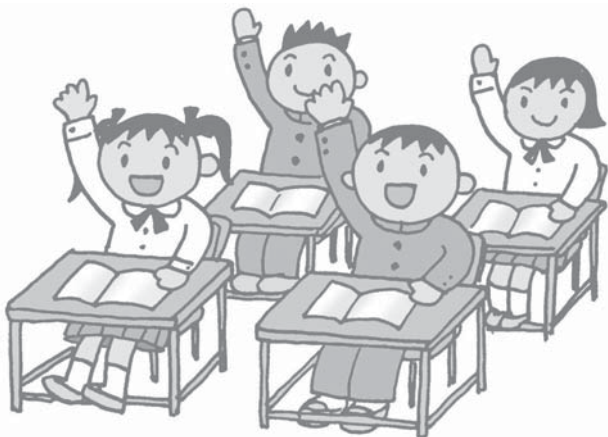
根差した教育委員会になるよう努力をして参ります。

**問** 大畑団地は、人口減少に歯止めをかけるためにも住民の方々に買っていただく、家を建てて子育てをしていただく、それには誰もが購入できるように価格でなければならぬが。

**町長** この件につきましては、今販売案を作成中でございます。

す。まだ予算にも歳入歳出とも計上していない訳でございますけれども、少なくとも9月の予算には計上して参りたい。今の篠原議員さんのご意見を踏まえて取り組んで参りますので、よろしくお願いたします。

**篠原議員** 思い切った価格を設定していただき、若い皆さんでも購入できるよう取り組んでいただきたい。



## 総務産業常任委員会

### 補正予算書は

詳細な説明などの工夫を

- 補正予算書の作成にあたっては、現計予算などできるだけ詳細な説明を付すよう工夫されたい。

### ○町長

補正予算書には説明資料を添付しない事から、説明欄の事業名の統一や補正前後の総額表示を追加するなど、より判りやすいものとなるよう今後、工夫して参ります。



工事が進む広域農道建設現場

### 物品の発注・入札は地域への配慮を

- 物品の発注・入札においては、地域経済の活性化・地域振興につながるよう配慮されたい。

### ○町長

消耗品や燃料等の物品購入にあたっては、価格のみならず品質なども考慮し、町内調達を優先原則として地域の皆様に還元できるよう努めて参ります。

### 多岐にわたる施策の事業は

横の連携を図り成果の向上を

- 定住促進など多岐にわたる施策が考えられる事業は、横の連携を図り、より多くの成果が上がるよう努力されたい。

### ○町長

定住促進事業では、働く場と住居の確保、福祉の充実などが求められていますので、募集、体験、定住につながるまで全町的な取り組みで支援できるよう連携を強化して参ります。

また、定住促進事業のみならず常に横の連携が求められる事業推進には、同様の対応に努力をして参ります。

各種福祉・医療制度改正が

計画されるが、更なる充実を

● 介護保険制度や保育制度などの改正が計画されている中、住民福祉の中心である保健・医療・介護・福祉の更なる充実を図りたい。

○町長

介護保険制度の改正や子育て子育て新制度など大きな改革が行われようとしております。このような中、住民福祉の中心である保健・医療・介護・福祉については、サービスの質の維持に努力し、更なる充実に向けて参ります。



町総合グラウンド改修工事視察

学習館の設計施工は、

利用者の意見の取り入れと地元業者の活用を

● (仮称) 北牧学習館の設計施工にあたっては、利用者からの意見や提案を取り入れ設計すると共に、工事にあたっては、できるだけ地元業者の活用と資材調達に努められたい。

○町長

(仮称) 北牧学習館の実設計にあたっては、公民館登録グループ等の利用者からの意見、提案を広く取り入れ実設計に活かし、みんなの学習館としてより利用しやすい施設になるよう設計を進めて参ります。また、工事にあたっては、可能な限り地元業者の参入を促し、請負業者に資材調達に関して地元を活用するようお願いをしております。



学習館として新たに活用される旧北牧小学校校舎

# 臨時会

第1回平成26年1月29日開催

## ◆小海町農業委員会委員の推薦

・黒澤 一己氏（小海原）

任期 平成26年2月1日から

平成29年1月31日まで

・須田 百合子氏（溝の原）

任期 平成26年2月1日から

平成29年1月31日まで

全員賛成で同意

第2回平成26年5月26日開催

## ◆小海町教育委員会委員の任命

・篠原 淳氏（本間上）

任期 平成26年6月5日から

平成30年6月4日まで

・篠原 正一氏（馬流高根町）

任期 平成26年6月5日から

平成29年4月30日まで

全員賛成で同意

※篠原 淳氏は6月5日開催の教育委員会において教育長に任命されました。

## 町村議会広報研修会に参加しました

より親しみのもてる

広報誌をめざして

全国町村議会議長会主催による第80回町村議会広報研修会が7月10日、11日の二日間の日程で東京都千代田区の砂防会館別館で開催されました。

台風8号の接近による影響もなく、全国から700名余りの議員、事務局が参加し、小海町議会では議員、事務局9名が参加しました。

一日目は全体研修として各講師から広報誌のわかりやすい表現、表記の方法、読まれる広報誌の編集方法、デジタルカメラの普及による写真の見方、考え方の講義を受けました。

二日目は各町村で発行された広報誌を使つての議会広報クリニックが各分科会で行われました。最初に講師より広報誌を発行するにあつての標準ページ数、文字の空け方等の基本的な講義を受けま

した。続いてクリニックが行われ、この中で、講師より議会広報誌は自治体が発行する広報誌との違いを出すべきという話がされ、教育費に絞つて予算の使い方を説明した広報の例等が紹介されました。今回の研修において学んだ点を今後発行します議会だよりに生かす、町民のみなさんにより分かりやすく、親しみがもてる広報にしていきたいと考えています。



分科会での広報クリニック

## 編集後記

安倍内閣が誕生一年六カ月が経過し、自公与党絶対多数により先

の国会に提出法案の九割が成立、重要法案の根幹部分が自公両党の党内調整で決まり国会が与党の数を背景に法案を通すだけの儀式の場になった事を否めないと言われます。今、政府が検討している集団的自衛権問題について国民の76%以上が議論が十分でないと言われており、これらについて十分少数意見を斟酌し、時間を掛け議論を願いたい。国全体で人口の減少が大きな問題となり、将来消滅市町村が出現の恐れがあると言われる中、新井町長二期目発足事業として若者定住促進事業として（仮称）北牧学習館建設事業が決定されました。今後引き続き若者定住促進事業を継続的に推進する事が強く望まれます。

（編集委員長 鷹野雄之助）

編集責任者 鷹野弥洲年  
編集委員長 鷹野雄之助  
編集委員 篠原 恒一  
編集委員 井出 薫  
編集委員 佐藤二三雄